

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 10 月 22 日 (2009.10.22)

【公開番号】特開 2008-310836 (P2008-310836A)
 【公開日】平成 20 年 12 月 25 日 (2008.12.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-051
 【出願番号】特願 2008-254710 (P2008-254710)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/02 3 6 0 Z

G 0 6 F 3/02 3 1 0 K

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 8 日 (2009.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示の書き換え速度が異なる複数の駆動モードで駆動される表示手段と、
操作に応じて変位する操作子と、
前記操作子の変位に基づく変位量に応じた制御信号を前記表示手段に供給する信号供給
手段と、
前記表示手段の駆動モードに応じて、前記操作子に与える負荷を制御する負荷制御手段
と、
前記負荷制御手段により制御された負荷を前記操作子に与える負荷付与手段と
を有する情報処理装置。

【請求項 2】

前記複数の駆動モードが、第 1 の駆動モードと、前記第 1 の駆動モードよりも書き換え
速度が速い第 2 の駆動モードとを有し、

前記負荷制御手段は、前記表示手段の駆動モードが前記第 2 の駆動モードである場合の
前記負荷が、前記表示手段の駆動モードが前記第 1 の駆動モードである場合の前記負荷よ
りも大きくなるように前記負荷を制御する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記表示手段が、コレステリック液晶を用いた表示体を含み、
前記複数の動作モードが、D D S (Dynamic Drive Scheme) 方式による駆動モードおよ
び前記 D D S 方式以外の方式による駆動モードを含む
ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

表示の書き換え速度が異なる複数の駆動モードで駆動される表示手段と、操作に応じて
変位する操作子と、前記操作子の変位に基づく変位量に応じた制御信号を前記表示手段に
供給する信号供給手段とを有する情報処理装置の制御方法であって、

前記表示手段の駆動モードに応じて、前記操作子に与える負荷を制御するステップと、
前記制御された負荷を前記操作子に与えるステップと
を有する制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００４３】

ステップＳ１３０において、ＣＰＵ４４は、負荷制御部３３を高負荷状態にする信号を、Ｉ／Ｏコントローラ４８を介して磁力制御回路３３ｃへ供給する。この信号の供給を受けた磁力制御回路３３ｃは、図７の実線Ｂに示す負荷を回転つまみ３１に付与するために必要な電力を、電磁石３３ｂへ供給する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００６１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００６１】

図に示す負荷制御部３３は、歯車３３ｅ、剛球３３ｆ、スプリング３３ｇ及びアクチュエータ３３ｈを有する。歯車３３ｅは、中心に貫通孔を有する。貫通孔には回転軸３４が挿入され、歯車３３ｅは回転軸３４に対して固定されている。歯車３３ｅと剛球３３ｆとは、スプリング３３ｇを介して連結されている。アクチュエータ３３ｈは、歯車３３ｅに近づく方角とその逆の方角の間の移動により、歯車３３ｅの側面に剛球３３ｆを押し当てる付勢力を調整する。